MONTHLY

ぽけっと

9月号
2011.9.1.

葉山町子育て支援センターぽけっと　〒240-0111　神奈川県三浦郡葉山町一色1493-1　TEL: 046-876-4152

秋の虫が鳴き始めました。季節の変わり目は、どこか切ないですね。夏の終わりに放映される某テレビ局の24時間テレビを、「この番組は泣かせるためにあるのではないかしら」とやや冷静に観ていたのですが、今年は被災地のことがたくさん取り上げられていたこともあり、いつになくしっかりと観ました。溢れる涙をこらえられなかったのは、私だけではなかったと思います。こと子どものことになると、我が子と重ね合わせて考えずにはいられず、心を奪われました。ちょうど数日前、先生たちと話していて共感したことがあります。「**保育で大切なのはしつけではない**」ということ。子どもたちはひとりひとり、もう**人格をもって今を精一杯生きています**。私たちは**それを支える**だけ。もしかしたら、親のすることもそんなにたくさんはないのかもしれません。「あれができるように、これができるように…」と先のことを考えるのが親心ですが、**今の子どもの姿**（何に目を輝かせている？どうすると嬉しい？通いあう幸せetc.）を**見失ってしまってはもったいない**…そう思うのです。見守っていれば、**何を伝えるべきか自ずから見えてくる**のではないでしょうか。

我が子が悪さをして学校に呼び出されたことも、いじめられるのを胸が張り裂けそうになりながら陰から見守ったことも、うまく関われなくて悩んだことも、自分たちの子育てを振り返り、反省も、後悔も、すべてひっくるめて今思うのは、そのとき**その瞬間、そのままを愛する**ことです。

イヤフォンを耳につけながら受験勉強に取り組む娘を苦々しく思いますが、そんな娘も私が疲れていると「あやちゃん、だいじょうぶ？」とポンとお尻を叩いて、からかいつつ励ましてくれます。欲をいえばいろいろありますが…私にとっては、**ホッと甘えたくなる大きな存在**です。

センター長　山浦彩子(やまうら あやこ)

9月の予定

◆♪ いいことといいこと♪「ふれあい遊び」
毎日 11:00-11:30
〈水曜日〉　えいごで遊ぼう (大下りえこ先生)
〈月２回 第2第4 木曜日〉
おやこでダンス　(近ゆきこ先生)

◆「0歳児つどいの広場」毎週木曜　10:00-11:00

休館日など

◆ 休 館 日　日曜・月曜・祝日

◆ 大 掃 除　9/30 (金)　9:00-11:00
広場のご利用は11:00から

◆ 職員会議　毎月第３土曜　14:00-16:00　予定
今月は9/3(土)

※広場・一時預かりのご利用は9:00-13:00になります

いいこと♪いいこと♪ 広場の遊びから

子育て情報サイトを検索してみてください♪

子どもたちや皆さんと一緒に遊ぶことが大好きな私です。今日は、私の自己紹介をさせてくださいね。実は、「ぽけっと」にいない日も子育て支援活動をしています。神奈川県子ども子育て支援事業コーディネーターや前向き子育てプログラム(Positive Parenting Program)ファシリテーター、絵本のおはなし会、イベント型のひろば等々。そこで、神奈川県が運営している子育て情報サイトをご紹介します。ぜひ、検索してみてくださいね。

♪かながわ子育てhappy☆さいと♪
神奈川県が、楽しい子育てができるようにと願いをこめて展開している子育てポジティブキャンペーン。このサイトは子育て中のママたちが運営しています。子育てのコメント、イベント情報、絵本作家や産婦人科の先生・子育て支援を研究している先生のリレートークなどなど。(ちなみに私も登場しています)黒岩知事の子育てコメント動画もありますよ。

♪子育て支援情報サービスかながわ♪
幼稚園・保育園・学童保育の情報や、行政サービス・地域や企業の情報、子育て支援団体の情報など。特にお勧めしたいのは、子育て応援施設の情報があること。授乳やオムツ換えなど困ったことはありませんか？公共施設なら無料で利用できます。出かける前に、どこに何があるか調べるなど、前もって準備しておくと少し安心できますね。

◆野北 康子(のきた やすこ) ひろば&ﾌｧﾐｻﾎﾟ担当◆

一時預かり ぷちのお部屋から

私が心がけていること♥

ぷちでは、毎日いろいろな年齢のお子様をさまざまな理由でお預かりしています。長時間にわたる子もいれば短時間の子も、預ける保護者の方も預けられる子も、不安がいっぱい…大切なお子様を**安全にお預かりする**のは第一ですが、**不安な気もちをやわらげ、できるかぎり安心して過ごせるように**、自分なりに心がけ努めていることがあります。

♥ 寂しくて**泣いちゃった子**には**いっぱいいっぱいお声をかけます**。抱っこやおんぶで歌を歌ってあげたり（たとえば**子守唄**や**げんこつ山のたぬきさん**etc.…これが意外と効果があるようですよ！ためしてみてください）

♥ **ちっちゃな赤ちゃん**は会話にはならないけれど、“アー”とか“ウー”とか**おしゃべりしたり、さすってあげたり**…おちついて過ごせる子には**いっぱいいっぱい遊んであげる**…というより一緒になって遊ぶ。

おばあちゃん感覚（年齢も十分おばあちゃんですが）の私にできるのは昔ながらのささいなことだけですが、笑ってくれたりすやすや寝てくれたりしたときは、ほんとうにうれしいものです。**お迎えのときのうれしそうな顔**を見て、無事にお預かりできたことに安堵します。たくさんの子どもたちと会える喜び、みなさまの子育てを少しお手伝いさせていただける喜び！　これからもよろしくお願いいたします。

◆横田 真澄(よこた ますみ) ぷち&ひろば担当◆

ぽけっと畑だより

夏休みいべんと特集

ぽけっと畑の8月は、まさに収穫の夏。春のいいことSPで種をまいた人参、ごぼう、枝豆もぐんぐん育っていよいよ収穫を迎えました。「よいしょっよいしょっ」みんなでがんばってひっぱってひっぱって…ようやく土の中から顔を出す根菜たち…枝はさほど太くないのになかなか頑丈で抜けない枝豆…大地にしっかりと根を張って育ってきた野菜は、甘味もこくもひと味違います。

畑の作物はときに風雨にさらされたり、日照りが続いたり…厳しい自然環境の中で生きていかねばなりません。ですから、“根っこ”をしっかり張ることがとても大切なのですね。相田みつをさんの詩をひとつ紹介します。人にとって大切なことを教えてくれる気がします。

花を支える枝　枝を支える幹
幹を支える根　根はみえねんだなあ
相田みつを　さく

◆淵本明美(ふっちー先生)　園芸活動・ぷち担当◆

流しそうめん つるつる～ 8.26.fri
サプライズイベントとして残暑の中、ひとときの涼をたのしんでいただきました。

8.25.fri
まめまめDay(収穫＆試食)

“ごぼうのきんぴら”実演中

にんじんサラダ！

8.18.thu
園芸クラブ
たね＆まめdeクラフト

ごぼう…ぬけたっ！

8.17.fri
にんじん＆ごぼう
収穫Day

ぬけた…

ふぁみさぽ ファミリー・サポート・センター

今月は、ファミサポの「病児・病後児のお預かり」について説明します。子どもが病気の時どこに預けたらいいのかわからない、というお母様方のお声をよく聞きます。「熱は下がったけど･･･もう一日保育園をお休みさせたい･･･だれか預かってくれる人がいると安心･･･」ファミサポの病児・病後児のお預かりは、そんな時にお役に立つシステムです。医療の提供や病状の回復を目指したものではありませんが、保護者の方に代わって、医療機関の指示に従いお薬を飲ませるなど、お子さんの様子を見守ります。ご利用にあたっての注意事項や保育謝礼など、詳しいことはアドバイザーまでお問い合わせください。

担当されるまかせて会員さんは、病児・病後児の預かりについての講習を受けています。また、おねがい会員さんには、連絡が取りやすいように工夫をお願いしています。専門的な判断が必要な時には、すこやかクリニックの宮村先生に医療アドバイザーとしてご協力をいただいていますので、相談しながら対応します。「病児・病後児のお預かり」は、お預かりしているお子さんをより安全に見守るためのシステムです。

次回は、まかせて会員交流会の内容から、災害時の講習についてお知らせしますね。

アドバイザーより

編集後記 子のこころ 親のこころ

安心して甘えられる存在に･･･気づいた母への想い

もう10年以上前、4歳の娘と私と母、親子三代で**大げんか**をしました。旅先で不安定な心理状態だったのかもしれません。娘の些細な**自己主張**が許せなくて「**わがままを言わないで、ママの言うことを聞きなさい！**」と、感情的に叱ってしまったのです。それでも頑として譲らず大泣きで反抗する娘に「**いいじゃない。好きなようにさせてやりなさい**」と母が助け船を出したことが、私の心をいっそう揺さぶりました。『幼い頃**わかってくれなくて叱ったのは、あなたでしょう**…』母に対してこみあげる怒りに戸惑い、言葉になって出そうになるのをこらえるのがやっと…私は「勝手にしなさい！」とその場を離れました。娘が「花柄はイヤ」とはこうとしないジーンズを、精一杯の抵抗とばかりに投げ捨てて…。

険悪な雰囲気に驚いたのか、いつしか娘はつらそうなすすり泣きに変わっています。その姿を背中で感じながら、キリキリと胸が痛みました。まるで**幼い頃の自分と同じ**。母に叱られて「**ママなんか大嫌い**」と口答えをして、さらに叱られて母がますます遠い存在になってしまった…『**ほんとうは他の兄弟と同じように甘えたかっただけ**』なのだと。娘の気もちと同時に**自分の素直な気もち**に、そのときようやく気づきました。

子育てをして初めて、母をとても求めていたことに気づくなんて…素直に**大好き**と言えていたら、どんなに楽だったでしょう。子どもが**安心して甘えられる存在になりたい**。この一件のおかげで、親として**大切にすること**がはっきりと見えるようになりました。娘や息子との絆が深まるにつれて、不思議と母との距離も近づいた気がします。母を亡くして5回目のお盆を迎えた、今だったらもうすこし素直に母と話せるでしょうか。

◆上野 祐子(うえの ゆうこ) 副センター長・心理相談担当◆